

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 越知町

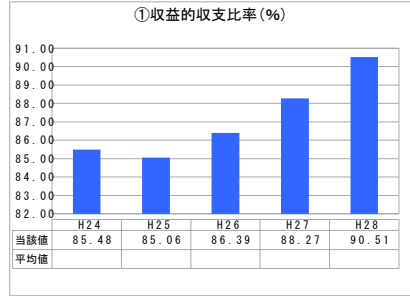
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定環境保全公共下水道 | D2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 64.03 | 100.00 | 2,268 |

| 人口(人) | 面積(k㎡) | 人口密度(人/k㎡) |
|------------|------------|-----------------|
| 5,906 | 111.95 | 52.76 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(k㎡) | 処理区域内人口密度(人/k㎡) |
| 3,751 | 0.81 | 4,630.86 |

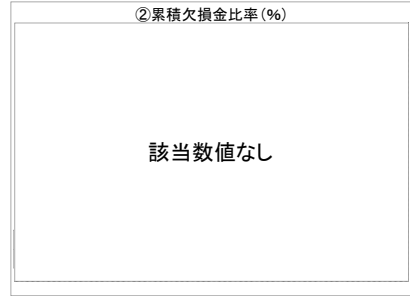
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成28年度全国平均

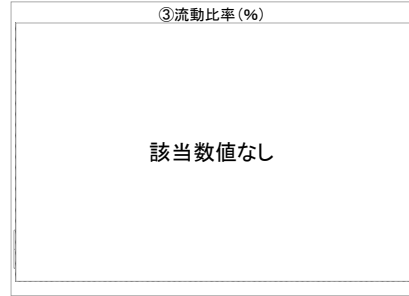
1. 経営の健全性・効率性



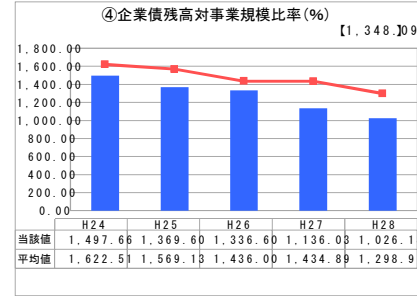
「単年度の収支」



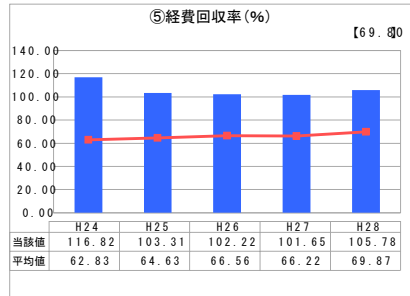
「累積欠損」



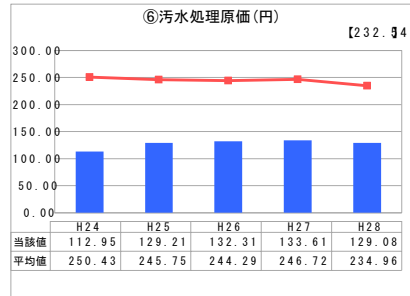
「支払能力」



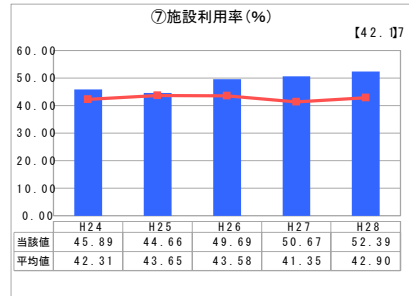
「債務残高」



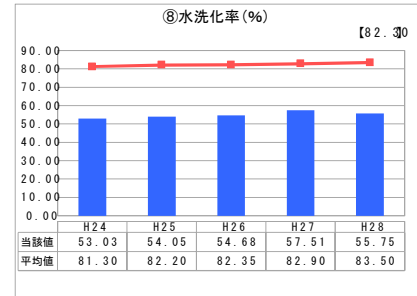
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

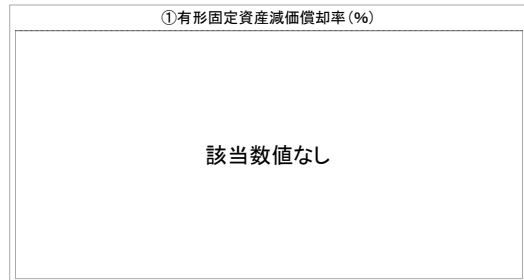


「施設の効率性」

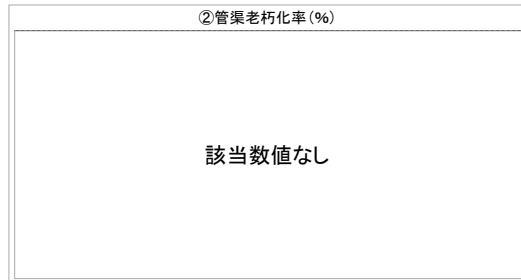


「使用料対象の捕捉」

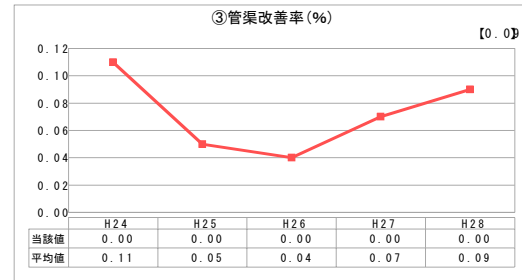
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 10%を下回っているが経年で比較すると、右肩上がりで10%に近づきつつある。しかし企業債残高の割合が高いゆえに他会計からの繰入金への依存度が高くなっている。

② 企業債残高対事業規模比率は、毎年の公債費負担額により右肩下がりになっている。主な区域への管渠は布設済である。

③ 下水道使用料により汚水処理費を賄っている状況ではあるが、収益的収支比率等に併せて健全な経営を続けていくため、現在の状況を継続していきよう管理していく必要がある。

④ 類似団体平均と比較すると、当該値は下回っている状態である。汚水処理としては、最低限の維持管理費で行っているため、現段階では健全な経営のよい経営であるといえる。

⑤ 特に施設が遊休状態でもなく、過大なスペックではなく適切な施設規模であるといえる。なお、最大施設利用率は、81.9%であった。

⑥ 水洗化率を算出する際の分母となる全体人口を、決算統計で過大入力していたため、平成28年度分は55.7%から58.9%へ修正する。

⑦ なお、修正値と比較しても、類似団体平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

③ 類似団体平均を下回っている。特定環境保全公共下水道事業の管渠については、現段階では法定耐用年数まで期間があるため改善等は行っていないが、今後ストックマネジメントの導入に伴い定期的な点検を実施し、計画的に更新を行う時期を見据えている。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業の経営は、他会計への依存によりなっている。他会計への依存度を少しでも解消させるため、起債事業の厳選や水洗化率の向上を目標とした啓蒙活動を推進していく必要がある。また、今後策定されるストックマネジメントの事業計画で標準化を確立できるよう、定期的な点検・更新を行い、バランスのとれた健全な経営改善を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。